	2023年度 一般社団法人那覇青年会議所	
	文化人財交流委員会	
現 状分 析	近年の社会環境の変化により様々な物理的接触や交流の機会が減少し、人と人とのつながりが 希薄化しています。那覇青年会議所内においても入会はしたものの、お互いのことを知らな い、顔と名前が一致しない等の課題があります。その結果、会議所内の事業にも参加する人と 参加しない人が出てきています。参加しない方々にはもちろ人青年会議所の魅力も伝わりませ ん。 永続的に LOM を発展させ、運動を効果的に拡げ続けるためには、組織を構成する会員一人ひと りが互いを理解し、個の成長と多様な強みを最大限に伸ばし、組織の力を高めていく必要があ ります。しかしながらそれが出来ていないのが現在の那覇青年会議所の現状だと考えます。	
目指すべき状態	組織を活性化するためには構成する側に目を向けなければなりません。新里理事長が掲げる基本理念「認め助け合う温かい社会を目接して」を基軸に円滑な会員同士の相互理解を促進し、 個々が健全な状態を維持し持続的な活動を続ける支援を行う事を目的とします。 会員には事業に参加する癖をつけて貰います。またそのために私たちが参加しやすい環境をつ くり、参加することが当たり前になる組織造りを目指します。 そして交流会や、事業を通しICIの事、沖縄の文化を理解してもらいます。	
	■「会員プロフィール作成」 現在那覇JCは、50名以上の団体です。新入会員が入会した際に、名前と顔が分からないという 事が問題になっています。新入会員が参加した際に、少しでもコミュニケーションが収りやす いように、全会員の顔写真入りのプロフィールを作成し、早めに馴染める環境づくりをしてい きます。 ■「委員会」	
運 動 手 法	基本的に委員会を毎月間くようにし、1月~5月の前半は、勉強会と、沖縄文化を取り組んだ事業での会員の家族を交えた交流を目的とし、6月、7月の中盤は、5月の事業を経験して、家族参加型の委員会を新入会員に考えてもらい、実施します。後半の8月以降は、JC祭に向け取り組んでいきます。 ■ 「那覇ハーリー競漕参加、会員家族と花火を見ながらBBQ」 琉球王国の伝統行事として栄えてきたハーリー競漕に参加し、新入会員同士の交流を図ります。ハーリー競漕に参加した後には、ハーリー会場から場所を移し、会員の家族を交え、花火を見ながらBBQを行い、会員家族人び活動の理解を求めていきます。	
	■ 「沖縄プロック協議会との交流とアカデミーの参加」 沖縄地区、プロックの事業にも積極的に参加し、そこで学び、交流をしてJC活動の意味、自主 的に参加していく意識を持ってもらう環境へしていきます。 ■ 「JC祭」 1年間の統括として、これまで一緒に活動した仲間の卒業の場でもあり、2023年度の集大成に なる事業を新入会員全員と協力して開催します。	
	■ 「会員プロフィール作成・委員会」 那覇青年会議所の皆様	
カウン タ ー	■「那覇ハーリー競漕参加、会員家族と花火を見ながらBBQ」 那覇ハーリー実行委員会・那覇ピーチリゾート	
パート ナ ー	■「沖縄地区・プロックとの交流とアカデミーの参加」 公益社団法人日本青年会議所、沖縄プロック協議会	
	■ 「JC祭」 未定	
第2回予定者会議	四予定者会議(10月25日)質疑応答	

質問1:新入会員主体のチームビルディングはハーリーとJC祭だけなのか。 回答:毎月の委員会の実施及び地区、ブロックの事業にも参加することでチームビルディングを構築します。 質問2:ハーリーはどのようにチームビルディングするのか。

回答: 新入会員全員を計F-ムとして練習及び懇親会にて関係性を構築します。 質問3:ハーリーの構築も新入会員が行うのか。

回答:委員長、副委員長が中心となって事業を構築し、そこに新入会員はメンバーとして参加して貰います。

意見1:プロックや他LOMとの連携について、運動手法や年間フレームにも入れて欲しい。

意見2:定期的に委員会を開いて交流を深めて欲しい。

回答:月に一度以上、委員会を開催することにしました。

質問4:プレゼン大会は行わないのか。 回答:現時点では予定していません。他の事業にて交流を深めます。

意見3:プロックも那覇も事業がスポーツだと被らないか。
回答:種目と参加する規模やメンバーが違うので被らないと思います。

第3回予定者会議(11月8日)質疑応答

質問1:ドラゴンボートの貸し出しがあるから練習しながらBBQはどうでしょう 回答:那覇ハーリーの開催決定が、3月下旬で5月のGW開催、4月に2回~3回の練習が本番利用する ハーリー船に乗船できるので、練習はそちらと調整させて頂ならになるかと思います。 ご提案有難うございます。前向きに考えます。 質問2:フレームの委員会、家族参加や懇親会とあるが、広報拡大委員会と合同で実施していきたいのだが

どうでしょうか

回答:是非、合同で実施出来る様にこちらからもお願いしたいです。双方にて調整していきましょう 質問 3:頑張っている風景を家族に見せるのはどうかな?例えば、理事会等の会議の姿を動画で流して

家族の理解を求めるのはどうかな 回答:同じような事を考えていました。吟味していきます

質問4:内容が表実していて中身を知っている例からすると新入会員の為に良いと思うが、参加をするという 事が負担に思う方もいるので、どういう風にポジティブに参加して貰えるのかお考えはありますか? 委員長ひとりで行うのではなく他の役員とも連携して宜しくお願いします。

回答:役員にも協力してもらいながら、電話、飲み会、個別の面談で会員のフォローをしていきます。 現時点では、人によるメンタルフォローが重要かと思っています。